

可搬型GNSS連続観測装置 (REGMOS)について

国土交通省国土地理院
地理地殻活動研究センター
地殻変動研究室長
宗包 浩志

令和7年8月19日

可搬型GNSS連続観測装置(REGMOS)

- 可搬型GNSS連続観測装置（REGMOS：レグモス）は、火山地域や顕著な地殻変動が予想される地域で電子基準点網を補間して設置する装置。
- 商用電源や固定通信手段の無い地域でも、太陽電池パネル、地上・衛星携帯通信端末などを組み合わせ、自律的な観測やデータ通信を可能とする。

マルチGNSSアンテナ

GPS, GLONASSなどのマルチGNSS観測が可能



太陽電池パネル

商用電源が無い場所でも観測可能

衛星携帯電話、地上携帯通信

衛星携帯通信や地上携帯通信による観測データの送信が可能

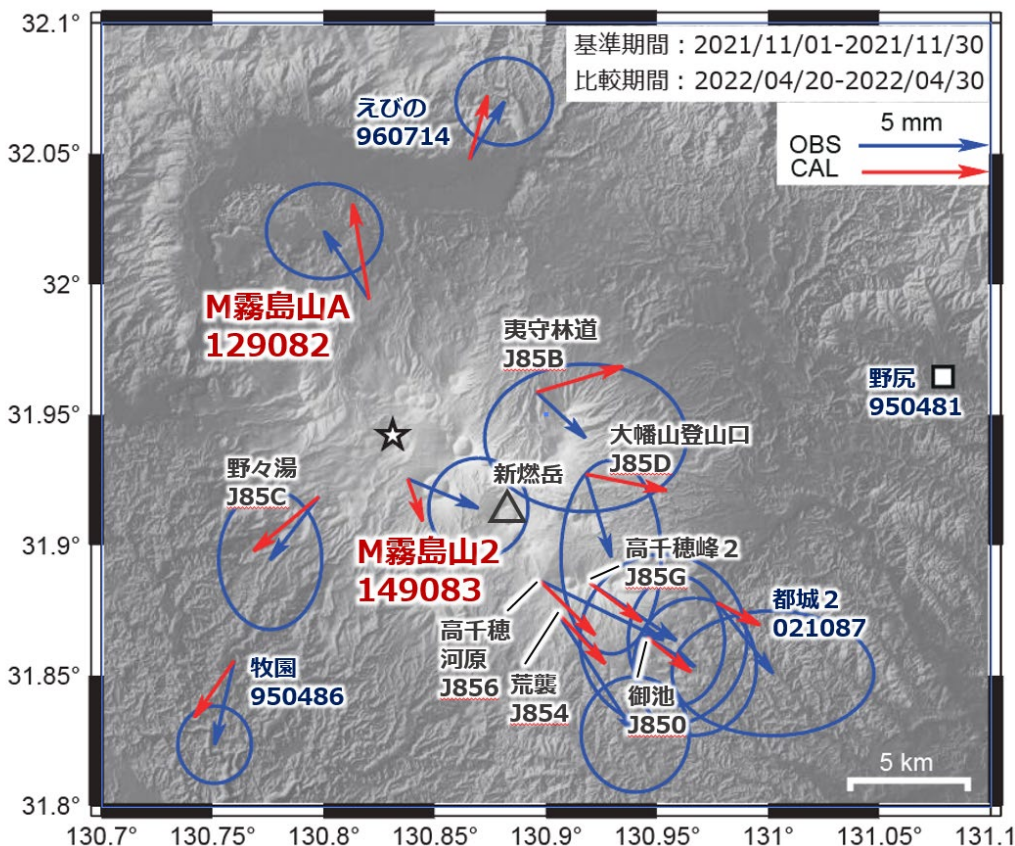


ネットワークカメラ

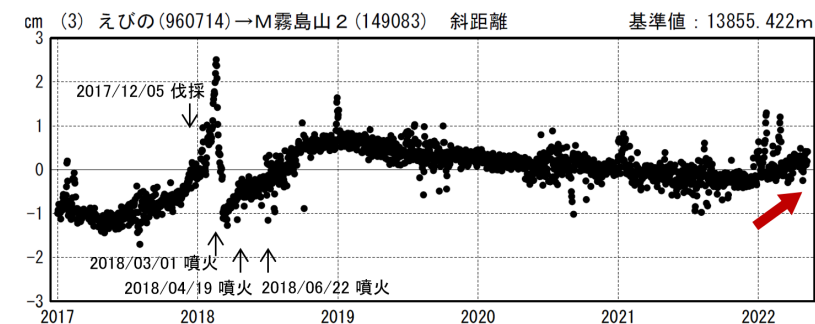
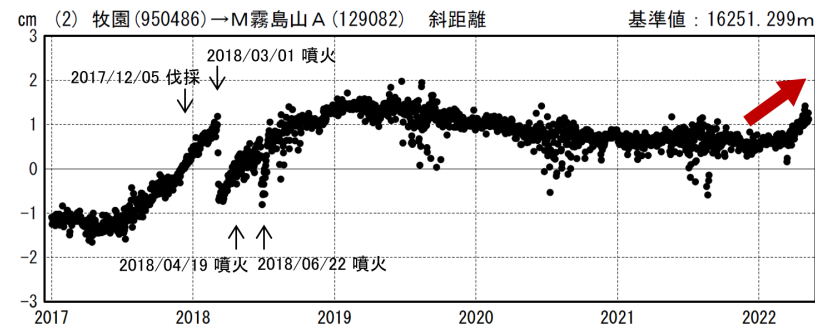
連続静止画の撮影が可能

電子基準点「えびの」－「牧園」基線等に見られる変動の詳細を把握するために REGMOS を設置。

変動源推定 (2021年11月～2022年4月 霧島山)



時系列グラフ



変動源：球

緯度 31.942°, 経度 130.831°, 深さ 7.6km

体積変化 $2.9 \pm 0.3 \times 10^6 \text{ m}^3$

変動源の詳細な推定に活用するとともに, 日々の地殻変動の監視を強化。